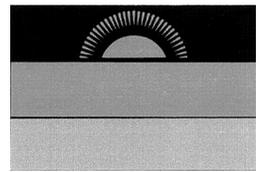


Kwacha (クワチャ) はチェワ語で「夜明け」を意味します。

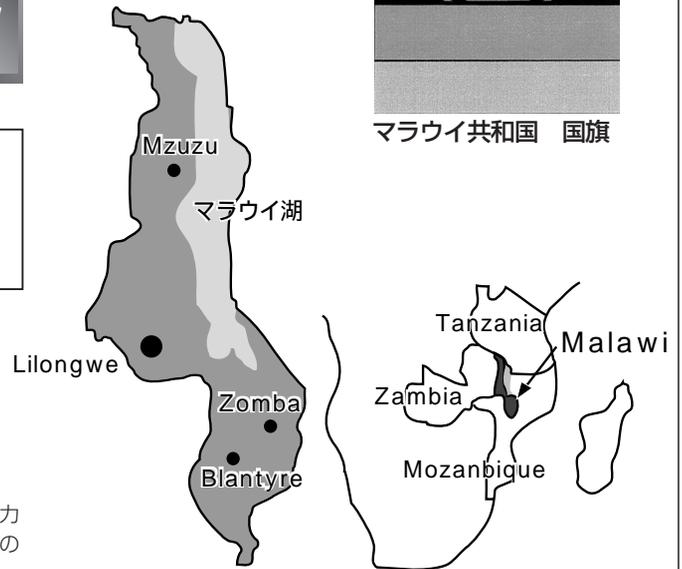
編集・発行：日本マラウイ協会  
〒150-0012 東京都渋谷区広尾 4-2-24 青年海外協力協会気付  
Tel. 03-3568-0908 Fax. 03-3568-3585  
Home Page <http://www.joca.or.jp/malaw/malawi-j.htm>  
E-mail [japan-malawi@mc.newweb.ne.jp](mailto:japan-malawi@mc.newweb.ne.jp)

面積：118,484 平方 km (日本の約 1/3)  
人口：1038 万人 (1998 年推計)、首都：リロングウェ  
独立：1964 年 7 月 6 日、公用語：英語、チェワ語  
政体：共和制、大統領：バキリ・ムルジ  
為替レート：US\$1 = MK 47.490 (9 月 10 日現在)  
MK 1 = 2.2558 円 (9 月 10 日現在)

【日本マラウイ協会 (Malawi Society of Japan)】  
日本とマラウイ両国間の理解を深め、文化、スポーツ、経済、科学技術等の協力を  
を通じ、相互の繁栄に寄与することを目的とする任意団体です。趣旨をご理解の  
上、広く各位の入会を希望します。  
会員数：276 人 (9 月 1 日現在)



マラウイ共和国 国旗



## 第 18 回通常総会間かれる

☐ 本マラウイ協会の第 18 回通常総会が 5 月 13 日 (土)  
15:00 から、東京・広尾の青年海外協力隊 (JOCV)  
広尾訓練研修センター大会議室で開かれた。



▲ 総会の様子

開会の後、まず出席者全員で、今年 1 月にマラウイで亡  
くなった JOCV の綱脇紫寿隊員の冥福を祈り黙祷を捧げた。

続いて、数原孝憲会長 (元 JOCV 事務局長) が挨拶した。  
挨拶の中で会長は、最近の駐日マラウイ大使との交流の中で  
得られたマラウイ国内情勢などを報告するとともに、引き続  
きマラウイ協会は日本～マラウイ間の交流、理解、友好促進  
のため、駐日マラウイ大使館の側面的支援をはじめとする諸  
活動において積極的な貢献を期待する旨を述べた。

議事に入り、第 1 号議案では平成 11 年度事業報告と決  
算報告が行われた。活動は広報活動、文化活動、国際協力活  
動、組織活動の 4 分野が柱となっており、機関紙発行、国際  
協力フェスティバル参加、チェワ語辞典統合改訂版編集、国  
情セミナー／シマを食べる会 (大懇親会) 開催、在マラウイ  
JOCV 隊員支援活動検討など、平成 11 年度の活動とそれに  
伴う決算、会計監査結果が報告された。

第 2 号議案の平成 12 年度事業計画と予算案では、基本  
的に前年度と同様に広報活動、文化活動、国際協力活動、組  
織活動を中心に活動を展開していくが、エポックは、

★文化活動として、2 年前から行ってきたチェワ語辞典統合  
改訂版編集作業が大詰めの段階であり、7 月 6 日に発行、7  
月 8 日に開催する国情セミナー／シマを食べる会 (大懇親会)  
の場で披露できるよう準備を進めていること、

★国際協力活動として、在マラウイ JOCV 隊員支援を通じ  
た「マラウイ・ウオーム・ハート・プロジェクト」を実施に  
移す計画であること、

が予算案とともに説明された。第 1・2 号議案は満場一致  
で承認された。

その他の議案として、長期会費滞納者に対する扱いが討議  
された。その結果、3 年以上の会費納入がない会員に対して  
は、会員継続の意思確認のための文書と会費納入督促の振替  
用紙を郵送し、それでも入金がない場合や、休会扱い希望な  
どの返信がない場合は退会扱いとすることを満場一致で可決  
した。

## 国情セミナーと「シマを食べる会」

☐ 本マラウイ協会主催のマラウイ国情セミナーと「シマ  
を食べる会」 (大懇親会) が、同国独立 36 周年を記念  
して 7 月 8 日 (土)、東京・広尾の JOCV 広尾訓練研修セ  
ンターで開催された。前日から台風 3 号が関東地方へ接近し、  
当日の天候が危ぶまれたが、午後には雨もあがり、ますます  
の天候となった。

国情セミナーは午後 2 時から研修室 1 で始まり、駐日マ  
ラウイ国大使 Bright S.M.Mangulama 氏が講師として約  
1 時間にわたって、最近のマラウイ国内情勢や日本との関係  
について講演と質疑応答を行った。

午後 3 時過ぎからは、会場を食堂に移し「シマを食べる

会」が行われた。会場には国情セミナーの参加者をはじめ、在日のマラウイ人 (JICA 研修生) や、大使ご夫妻と大使館スタッフ並びにご家族など、総勢約 50 名を数えた。

初めにテープによるマラウイ警察音楽隊のマラウイ国歌演奏の後、物故隊員へ全員で 1 分間の黙祷を行った。続いて日本マラウイ協会の数原孝憲会長が独立 36 周年への祝辞を述べた。また、協会が約 2 年の歳月をかけて編集し、7 月 6 日に発行したばかりの「チェワ語辞典 (統合改訂版)」を会長から大使へ直接、寄贈・引き渡しを行った。

これに対し Mangu lama 大使は、日本で独立記念日を祝えることを喜びとともに、マラウイの各分野で活動する JOCV 隊員および帰国後もマラウイのことを忘れず日本とマラウイの友好親善・理解促進のために活動している日本マラウイ協会員に謝意を示された。そして、引き続き両者の今後の活動への期待を表明された。また、チェワ語辞典は、協力隊関係者だけでなく、マラウイへ渡航する日本人が同国への理解を深めるのにも役立ち、マラウイ観光産業促進上も有効なツールとなり得ることを示唆された。

続いて、初代 JOCV マラウイ派遣隊員の桐田直樹氏 (昭和 46 年度 1 次隊) の乾杯の苗頭で会は始まった。会場のいたるところでは、JOCV マラウイ派遣 OB/OG 達の輪ができ、新旧マラウイの話題に花が咲いていた。

今回、「シマ」の原料であるとうもろこしの粉は大使館提供の現地産のもので、調理は大使館職員夫人と OB/OG

の協力によって行われた。また、おかしは会場で調理したものに加え、大使館職員夫人が自宅で調理したものを持ち込んでくださった。

また、同夫人による手作りのマンダジ (マラウイのお菓子) と 6 月に一時帰国した草苺康子隊員 (平成 9 年度 3 次隊) のお土産であるムズスコヒー (マラウイ産コーヒー) とチョンベティー (マラウイ産紅茶) も供され、参加した OB/OG は本物の懐かしい味を存分に楽しむことができた。

さらに、マラウイを再訪した OB が持ち帰った木彫りや、大使館提供のチョンベティー、在マラウイの現役隊員製作の 2000 年 JOCV カレンダーなどを景品にくじ引き大会が行われ、当選者は歓喜にわいた。

最後に来年の再会を約して参加者一同で記念撮影を行い、盛会のうちに散会となった。

## 国情セミナー概要

### (1) 政治

マラウイは 1964 年の独立以来、一党制で言論の自由などがなかったが、1994 年の大統領・国会議員選挙で民主的に現政権に移行した。昨年 6 月 15 日に複数政党制下での第 2 回大統領選挙、国会議員選挙が行われ、UDF (統一民主戦線) 党首で現職の Bakill Muluzi 氏が再選され、正式に 2 期目大統領に就任した。野党は Muluzi 氏の得票数が、憲法で定める有効得票数に達していないなどとして裁判に訴え、係争中である。

### (2) 経済

複数政党制になったとき、国民には経済状態改善に大きな期待があった。マラウイ政府は外国為替の自由化を進め、金融と税のシステムを改革した。また、輸出入に必要な免許を撤廃し、外国・国内の投資家へ投資奨励策を導入した。政府は経済を改善するため、特に外国からの投資を強く求めている。繊維、衣料、履物、肥料、木工製品、パルプ・紙製品、農業機械、通信などへの投資環境は非常によくなってきているので、是非、外国企業に参入して欲しい。

観光産業には成長の潜在性がある。日本には JOCV OG/OG が多くいるので、マラウイの自然の魅力をよくわかっていただけだと思う。皆さんには是非、日本でマラウイを PR していただく役割をお願いしたい。

国民の約半数が貧困レベル以下の生活をしているマラウイにとって、貧困緩和プログラム成功の鍵は経済の成長にある。政府は、一般国民の生活改善に重点を置き、食料、住居、教育、健康、道路網の確保に力を入れている。

長年の経済改革や外国からの援助にもかかわらず、高いインフレ率や利息率が続いているのは事実である。しかし、過去 2 年間の政策は地道ながら成果を上げ、消費者物価指数にみるインフレ率は下降傾向にある。また、実質 GDP 成長率は 1999 年は 4.5% だったのが 2000 年には推定 5% になるようとしている。

### (3) 日本との関係

JICA には専門家派遣や各種プログラム、プロジェクトで協力していただき、非常に感謝している。また、1971 年以来、JOCV の若人に各分野で技術協力・移転に努力いただいております。感謝にたえない。JOCV 隊員は現地に非常によく適応しており、うれしい限りだ。帰国者は日本全国にいらしているので、今後は私が地方に出かけたときに、地元の元マラウイ JOCV 隊員に会う機会を持ちたいと思っているので協力して欲しい。

## 大使館からその後の依頼

上記国情セミナーで大使が言及されたマラウイ観光産業プロモーションや列国企業の投資促進につき、JOCV マラウイ派遣 OB/OG のネット



▲全員で記念撮影

ワークの協力を得たいとの依頼が書簡  
でありました。概要は次の通りです。

\*\*\*\*\*

マラウイが JOCV 隊員を受け入れ始  
めてから帰国隊員は 1000 名以上を  
数え、それらの方々は日本の各地で  
ビジネス、公共団体、政治など様々な分  
野で活躍中です。そして、マラウイ  
での経験、日本社会でのユニークな立  
場、地域社会のビジネス・政治・経済  
環境の知識をお持ちです。

全ての市町村を訪問することはでき  
ませんが、どこか地方の中心都市や周  
辺で、その地域の JOCV OB/OG の  
方達が地元とのつながりを生かして、  
その地域の商工会議所の会員や非会  
員、観光関係機関の代表者、地方自治  
体の代表者を含む地域の有力者など  
の会合をアレンジして下さると大変  
ありがたいです。会合のテーマは「マ  
ラウイ～観光と投資先・貿易相手と  
して」で、大使館は地域の方々にこれら  
に関する情報と質疑応答の機会を提供  
します。このような方法で、より広い  
分野の方々と接触できることを期待し  
ております。

\*\*\*\*\*

マラウイの観光産業・経済発展のた  
めに、上のような会合アレンジに一肌  
脱ごうという OB/OG の方は、是非、  
当協会へご一報下さい。

## 《マラウイ短信》

この欄のニュースはデンマークの  
「Malawi News Online」から抜粋し  
要約したものです。各項目の冒頭の日  
付は同ニュースの配信日を示していま  
す。

日本マラウイ協会は同紙と配信契約  
を結び、記事の要約・掲載について許  
諾を得ています。記事の著作権は同社  
に帰属します。

### モザンビーク洪水救助を指揮 [3月28日]

**在**モザンビークのマラウイ大使館  
は、マラウイのモザンビーク洪  
水救助活動調整官がアメリカ、ドイツ、  
南アフリカ、モザンビークを含む各国  
政府派遣の航空機の指揮調整官に任命  
されたと発表した。マラウイはモザン  
ビークに 2 機のヘリコプターを救助活  
動に派遣している。3月8日現在では

ヘリコプター 11 機と飛行機 1 機が救  
助活動にあたっているが、さらに 6 機  
のヘリコプターがアメリカから到着し  
た。

モザンビークの洪水では何百人もの  
人が死亡し、40 万人以上の人々がホー  
ムレス、食料なしの状態になった。ま  
た、多くの人々がコレラや水が原因の伝  
染病の危険にさらされている。

### エア・マラウイ、毎日南アへ [3月28日]

**昨**年、エア・ジンバブエとの共同運  
行ヨーロッパ便を」上めたエア・  
マラウイは、3月31日から南アプ  
リカのヨハネスブルグへ毎日運行を開始  
する。

エア・マラウイは現在ヨハネスブル  
グへ週 5 便を運行している。毎日の運  
行は南アフリカへ日帰りのためにさら  
に柔軟度を高めることを目的としてお  
り、さらに、ヨハネスブルグ経由でヨー  
ロッパ、中東、アジアの主要航空会社

便への接続も容易になるとともに、貨  
物の運送容量も増やせることになる。

エア・マラウイ広報官はさらに、ケ  
ニア・ナイロビへの第 3 便の導入を発  
表した。これで他国からのマラウイへ  
の旅客はナイロビで 1 泊することなく  
マラウイへ接続できるようになる。

## 《日本マラウイ協会》 平成 12 年 3 月～8 月 活動内容

### (1) 大使館職員の

フェアウェルパーティーを開催  
[3月]

3月末に帰国予定のナンビンドー等  
書記官と 6月に帰国予定のバンダ秘書  
のフェアウェルパーティーを行なった  
両名には当会の数原会長より日本料理  
の本(英語版)がプレゼントされ、両  
名からは当会の永年の協力へ感謝の言  
葉があった。後任として着任したチリ  
マ氏、マクムラ氏も参加した。

## チェワ語辞典統合改訂版発刊

前号でも予告いたしましたが、日本マラウ  
イ協会は、チェワ語 (Chichewa) 辞典 (統合  
改訂版、B5 判 186 ページ) を、7 月 6 日に発  
刊しました。

チェワ語は、マラウイ中南部からザンビア  
東部にかけての地域で、チェワ族を中心に使  
われ始め、現在ではマラウイの多くの地域で  
共通国語として公用語の英語と共に使われて  
います。現地の人々と草の根レベルで交流し、  
活動を展開する JOCV 隊員にとっては、チェ  
ワ語を使うことが円滑なコミュニケーション  
を図るための重要な手段となっています。

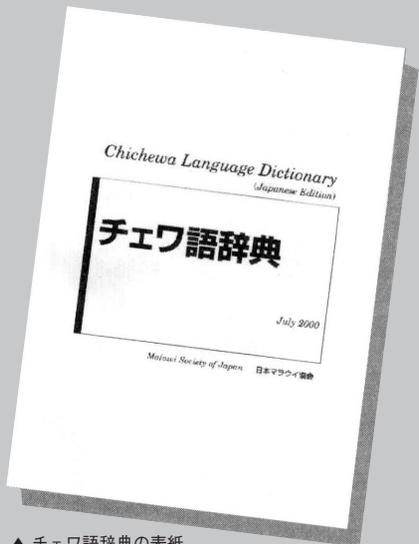
本書は、そのチェワ語の手引書として、一  
87年に当時の JOCV マラウイ派遣隊員およ  
び OB / OG が中心となり編集した「チェワ  
語辞典」、「Chichewa Textbook」(文法・日常  
会話編、医療編) という 2 種類の冊子の内容  
を統合すると共に、補遺、改訂したものです。  
文法概説、辞典部 (チェワ語→日本語、日本  
語→チェワ語)、文例集 (日常会話、医療会話)  
のみならず、同国の概要、略史、地図なども  
掲載し、チェワ語学習の一助となり、マラウイ、  
ザンビア等での生活・旅行において広く活用  
していただけるものであると自負してござ  
います。

本書のことを多くの方に知っていただけ  
ますように、適宜、関係各方面への周知等をし  
ていただけたら幸いです。

購入申し込みは本紙 4 ページの入会方法案  
内・連絡先に記載の郵便振替口座または銀行  
口座へ、1 冊当たり 1500 円と送料 310 円 (日  
本国内) を送金してください。

1) 郵便振替の場合：必ず通信欄に「チェリ語  
辞典 x 冊希望」と明記してください。

2) 銀行振込の場合：事前に必ず e-mail、  
あるいは電話 / FAX で「チェワ語辞典 x 冊希  
望」であり、銀行振込にて代金を送金するこ  
とを当会宛に連絡してください。



▲ チェワ語辞典の表紙

なお、いずれの場合も、品物がお手元に届  
くまで、振込票控 / 送金記録等を保管してい  
ただきますようお願いいたします。また、海外在  
住で購入ご希望の場合は、事前に当会宛にご  
連絡いただき、送付方法を調整してくださ  
るようお願いいたします。

**(2) ウォームハートプロジェクト進行状況****【4月】**

JOCV 事務局長宛にプロジェクト実施案の文書一式および便宜供与依頼文書を提出。

**【7月】**

JOCV 事務局から7月10日付けで公式文書回答あり。便宜供与は基本的に了承されるとともに、実施手順等につきマラウイ事務所の要望事項あり。

**【8～9月】**

7月にJOCV事務局から届いた文書に基づき、実施手順等を事務局側の要望に沿える形にフローを見直し検討。

**(3) JOCA からの原稿依頼****【6月】**

(社)音年海外協力協会(JOCA)より、JOCAが編集/発行している

「JOCA ダイジェスト No. 4」に対し、当会の紹介記事の原稿依頼があったので作成、提出した。

**(4) マラウイ協会ホームページ更新****【6月】**

JOCAのホームページスペースを借りている当会のホームページを最新の内容に更新。当会独自のホームページ作りは別途考えることとした。

**(5) チェウ語辞典統合改訂版発刊****【7月】**

平成10年度より取り組んでいた「チェウ語辞典統合改訂版」がようやく完成し、7月6日の独立記念日に発刊した。

**(6) 国情セミナー/シマを食べる会開催****【7月】**

独立記念日行事として7月8日に

国情セミナー/シマを食べる会を開催した。詳細は1面参照。

**(7) 高田小学校からの寄付金****【5月】**

島根県の高田小学校より「子供達が空き缶や古新聞を集めたり、街頭募金を行って貯めたお金(8万円弱)をマラウイへの援助に使ってほしい(ただし、子供達の要望は医療関係。)」との連絡あり。マラウイ側に上記のことを伝える。

**【6～7月】**

マラウイ側から、2名の医療隊員が援助の希望ありとの連絡あり。

**【8月】**

寄付金をこの両名に半分ずつ送金することとなった。

## ☀️ 日本マラウイ協会情報 ☀️

**■国際協力フェスティバルのご案内**

日本マラウイ協会では10月7・8日(土・日)に突戻、日比谷公園で行われる国際協力フェスティバルに参加します。マラウイのお菓子マンタース(マンタジ)の調理即売をはじめ、当協会出版物、アフリカの民芸品販売などを予定しており、マラウイのPRに努めます。当日、当会のブースでお手伝いいただける方は、本ページ最後の入会方法の欄に記載のところに電話、巨メールなどでご連絡下さい。

**■日本マラウイ協会の刊行物**

(1) 国情紹介誌「Malawi - The Warm Heart of Africa」第2版(94年7月発行) A4版 40ページ 1部 1,000円(送料310円)

(2) マラウイ旅行ガイド 新訂第2版(97年7月発行)「アフリカの暖かき心、湖とサバンナの大地へ」 B5版 108ページ 1部 1,200円(送料310円)

各書ご希望の方は、本ページ最後の入会方法の欄に記載の郵便振替口座または銀行口座宛に、代金および送料をお送りください。その際、郵便振替の場合は振込用紙の通信欄に必ず「xxxx xx冊希望」と明記してください。銀行振込の場合は事前に必ずe-mail、あるいは電話/FAXで「xxxx xx冊希望」と当会宛連絡してください。

**■ご意見、ご質問をどうぞ**

日本マラウイ協会に対するご意見、ご要望、ご質問などありましたら、下記当協会宛へご遠慮なくお寄せください。また、電子メールによるマラウイ関連情報の配信も行っておりますので、電子メールアドレスをお持ちで、ご希望の方は、あわせてご連絡ください。

**■日本マラウイ協会 月次定例会**

日本マラウイ協会では、毎月第3水曜日18:30～に、東京都内(通常はJOCV 広尾訓練研修センター 1F 研修室2)で、月次定例会を開催し、マラウイ関連の支援活動などについての討議や、マラウイ関係者間の情報交換などを行っております。参加は会員でなくても構いません。初めての方も大歓迎です。詳しくは、下記の当協会までお問い合わせください。

**■日本マラウイ協会 入会方法**

ご連絡いただければ入会申込書をお送りしますので、各項記入の上ご返送ください。また、入会金と年会費の合計(個人正会員の場合 1,000円+3,000円=4,000円)を下記の銀行口座または郵便振替口座へお送りください。(郵便振替口座が安く便利です)

〒150-0012

東京都渋谷区広尾 4-2-24

青年海外協力協会気付 日本マラウイ協会

TEL : 03-3568-0908 FAX: 03-3568-3585

E-mail : japan-malawi@mc.newweb.ne.jp

※電話/FAX番号が変更となっております。ご注意ください。

●三和銀行 東恵比寿支店 普通口座 255739

口座名義人 日本マラウイ協会 名誉会長 卜部敏男

●郵便振替 00190-7-13125

加入者名 日本マラウイ協会

また、協会規約その他についても上記宛お問い合わせください。